

授業科目名	現代社会と社会教育
科目番号	CB27011
単位数	2.0 単位
標準履修年次	2・3 年次
時間割	春AB 木1,2
担当教員	上田 孝典
授業概要	現代に生きる人々が必要とされる学びとは何かについて、現代社会に関わる課題と社会教育の実践から検討する。
備考	社会教育主事 対面
授業方法	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	人間科学の理解力 教育学の基礎的体系的知識
授業の到達目標（学修成果）	現代社会における今日の課題を、社会教育・生涯学習の観点から取り上げ検討する。また社会的な課題に向きあって様々な活動を行っている市民活動(NPO, ボランティアなど)について調べ、考察を行う。
授業計画	8つのテーマについてグループ発表を行う。 各回発表1時間、討議1時間とする。 第1回 オリエンテーション 第2回 現代社会の理解と教育的課題 第3回 社会的課題に向きあう学び1 政治・経済 第4回 社会的課題に向きあう学び2 地方自治と地域 第5回 社会的課題に向きあう学び3 多文化共生、社会的排除とマイノリティ 第6回 社会的課題に向きあう学び4 子育て、放課後、若者支援 第7回 社会的課題に向きあう学び5 SDGs 第8回 社会的課題に向きあう学び6 ワークライフバランス 第9回 社会的課題に向きあう学び7 人権と平和 第10回 社会的課題に向きあう学び8 現代社会を見る視点と振り返り 各回のトピックについては、変更することもある。 社会的課題についてテーマを設定し、発表をする。
履修条件	
成績評価方法	テーマ設定とプレゼンテーション 50% 各回の感想シート 50%
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	社会的課題についてプレゼンテーションを行うための準備をする。 また各テーマについて予習を行い、授業において発表する。
教材・参考文献・配付資料等	授業の中で適宜指示する。
オフィスアワー等（連絡先含む）	ueda at human.tsukuba.ac.jp
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	時事問題や身の回りの生活を注視して、社会のさまざまな動きについて考えてもらいたい。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチング	

アシスタント (TA)	
キーワード	社会教育, 市民活動, 社会的排除, 施設, 講座